

大草谷津田いきものの里 自然観察会

楽しもう！草花あそび

岡田 敬子（千葉市）

日 時：2018年 7月 1日（日）10：30～12：00 天候：晴れ

参加者：35名（大人19名、子ども16名）

担当指導員：金子美幸・岡田敬子

参加指導員：佐藤一枝、芳我めぐみ、萩 政勝、山岸文子

観測史上初の6月末の梅雨明け以来猛暑続きの毎日で、今日も朝から真夏の青空と強い日差しで熱中症警戒中。果たして草花あそびにどれだけの参加者が来てくれるかと不安に思いながらも、受付周りに草花のお寿司やシロツメクサのネックレスなどを飾りシャリンバイの葉の名札も用意して雰囲気盛り上げた。スタートぎりぎりに次々と小さな子供連れの親子がやって来た。受付を他の指導員に協力してもらいながら駐車場周辺から観察スタート。

まず観察路入り口でスギナのつなぎ目遊びとカタバミで10円玉みがきを皆でやってみる。草花遊びはどこにでもたくさんある草花で特徴を見抜いて遊ぶことを知ってもらおう。しかし若い世代にはスギナもカタバミもあまり知らない草だったようだ。

谷津田に降りて行く道では昔の人達がマダケやスギを利用して遊んだりしたことを話題にする。谷津田の水辺の環境を解説し、そこでできる草花遊びとしてササ舟とササのアメ玉を提案。千葉には小さなアズマネザサが多い。葉っぱのとり方を説明し舟作りに挑戦してもらった。出来上がると水辺に浮かべて大喜びだった。谷津田のベンチ周辺は涼しい風が渡り木々の緑陰でとても気持ちが良い。S指導員からフジの葉っぱでの遊びイロハニコンペイトウを覚えてもらう。シロツメクサを摘んで指輪を作って遊ぶ。カエル、トンボ、バッタを捕まえて遊んでいる。12時が近づき最後にシラカシのホイッスル作りを呼びかけた。葉っぱの笛は色々なタイプのものであるが、作っても音が出ないのがっかりなので、比較的簡単に大きな音の出るまき笛にした。すぐに大きな音を出す子もいるが、「どうやれば音が出るんですか？」とコツを聞きに来る人多数。コツを伝えて最後には全員音が出て笑顔になった。笛を吹きながら広場に戻った。

解散前にカエルを触った人は手を洗うことと、Y指導員が用意してくれた七夕の竹に短冊をつるして願い事を書いてもらうよう呼びかけて観察会を終了した。



ササの葉でササ舟



ササの葉でササ舟、フジの葉でイロハニコンペイトウ